ドミニカ（共）内政，外交，経済定期報告（２０１５年８月）

１　概況

●１３日，ファルコンド社は，アメリカン・ニッケル・リミッティド（ＡＮＬ）が，ファルコンブリッジ・ドミニカーナ社の株式を１００％獲得したと発表した。

●１４日，移民局は，身分証を持たない外国人の送還を開始し，２０日までに不法移民正常化計画に登録されていない移民を，２２０人送還した。

●１５日，メディーナ大統領は，就任満３年を迎えた。

●３０日，メディーナ大統領は，２０１６年大統領選挙におけるＰＬＤ候補に正式に選出され，フェルナンデス同党党首（前大統領）に対し宣誓した。

２　内政

（１）３日，政府は，新たにネルソン・ペゲロ国家警察長官，フレネル・ベジョ・アリアス交通警察（ＡＭＥＴ）長官，フランシスコ・パガン公共事業監視技術局(ＯＩＳＯＥ)局長，オラシオ・マサラ上下水道庁（ＩＮＡＰＡ）長官らを任命する法令を発した。

（２）１２日，ペラルタ大統領府官房大臣は，メディーナ大統領が８月１５日に就任満３年を迎えるところ，この３年間の同大統領の政権運営の成果について，概要以下の通り評価した。

（ア）２０１６年までに，７４の病院が改築され，新たに１００の診察センターが設立される予定である。

（イ）２０１６年までに，２０００以上の，貧困層向けの住居設立を終える予定である。

（ウ）８０万人以上のドミニカ（共）人が，文盲撲滅プロジェクトに登録されており，そのうち６０万人は既に同プロジェクトのプロセスを終えている。

（エ）１０９回の「突然訪問」（注：メディーナ大統領が毎週末実施している地方視察であり，全国各地の中小零細農家と懇談して直接の声を聴き，その場で彼らに対する融資を決定したりしている）を行い，その結果１３４のプロジェクト，約５万人の直接雇用を生み出した。

（オ）複数の観光開発計画が実施されており，２０１４年にはドミニカ（共）史上最も多くの観光客が当国を訪れた。

（３）３０日，メディーナ大統領は，２０１６年大統領選挙におけるＰＬＤ候補に正式に選出され，フェルナンデス同党党首（前大統領）に対し宣誓した。また，メディーナ大統領はその演説の中で，これが最後の立候補であり，再び立候補することは無い旨述べた。

３　外交

（１）９日，ナバロ外相は，ニューヨークを訪問，バン・キムン国連事務総長と会合を行い，不法移民正常化計画の成果について説明した。

（２）１４日，移民局は，身分証を持たない外国人の送還を開始した。

（３）１８日，アルマグロＯＡＳ事務総長は当国を訪問し，サントドミンゴにて開催された，第２回世界選挙機関連合（Ａ－ＷＥＢ）総会の開会式に出席してスピーチを行った際，１９６５年の米国によるドミニカ（共）への軍事介入（注：米国が，左右勢力の内戦状況にあったドミニカ（共）に軍事介入し，カアマーニョ陸軍大佐を首班とする左派勢力を制圧した事件）を当時のＯＡＳが承認したことについて謝罪した。

（４）１８日，アルマグロＯＡＳ事務総長は，外務省にてナバロ外相及び関係者との間で，２０１６年６月に当国で開催予定の第４６回ＯＡＳ総会に向けた予備的会合を行った。また，同事務総長は，本会合にて，７月２９日に公表された，ＯＡＳミッションのまとめたドミニカ（共）・ハイチ間の移民問題に関する報告書について，同報告書は正確で公正であり，同問題の解決に向けた有益な基部になると述べた。

（５）２０日，パウリーノ移民局局長は，不法移民正常化計画に登録されていない移民を，送還開始から１週間で，２２０人送還したと述べた。

４　経済

（１）１２日，ルイサ・フェルナンデス国家フリーゾーン審議会会長は，現在，フリーゾーンには６２８の会社がある，同地域からの輸出は年間約５０億ドルである，２００９年から２０１４年に最も成長した分野は，靴，タバコ，繊維である旨述べた。

（２）１３日，ファルコンド社は，アメリカン・ニッケル・リミッティド（ＡＮＬ）が，ファルコンブリッジ・ドミニカーナ社の株式を１００％獲得したと発表した。

（３）２０日，ヘアン・アライン・ドミニカ輸出投資センター（ＣＥＩ－ＲＤ)総裁は，中国のＨＡＹＣＯ社（注：水フィルター，電動歯ブラシ，デッキブラシ等の製造業社）が，当国フリーゾーンに工場を建設する，同社の初期投資は５０百万ドルである旨発表した。

（４）２４日，ホセ・デル・カスティージョ商工大臣は，世界的な石油価格下落は，ドミニカ（共）経済に好い影響を与える旨述べた。